

癌化学療法レジメン

氏名: _____

ID: _____

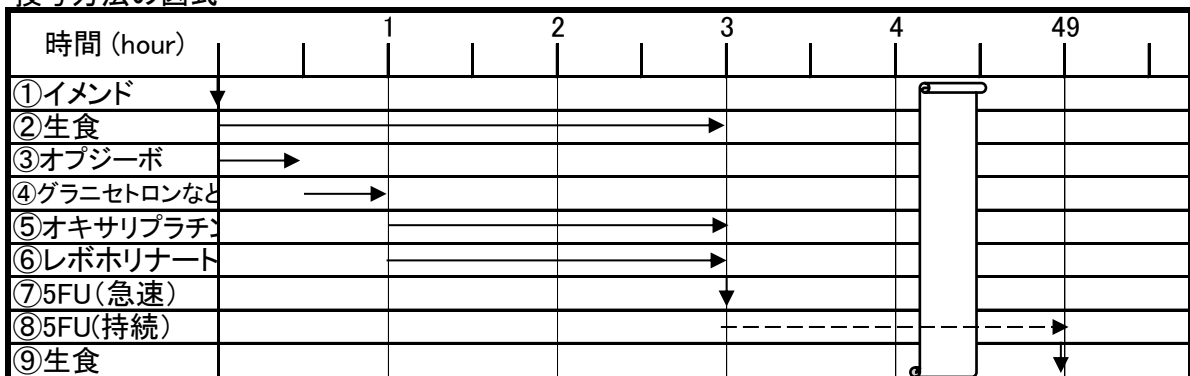
体表面積: _____ m² 体重: _____ kg

レジメン名 **mFOLFOX6/ニボルマブ**
 対象疾患 HER2陰性の切除不能な進行・再発の胃がん
 診療科 _____
 施用者 _____

1 投与薬剤名、投与量、投与方法

	投与薬剤名	投与量	投与可能量(mg)	溶解、希釈液	投与方法
①	イメンド	1セット(3日分)			L-OHP投与1時間前に1日目を服用
②	生食	250mL			血管確保とフラッシュ
③	オブジーボ	240mg/body		生食100mL	30分かけて(総量100mLで調製)
④	グラニセトロン	3mg/50mL(1袋)		混注	30分で点滴静注
	デキサート	3.3mg/mL(1A)			
⑤	オキサリプラチン	85mg/m ²		5%糖液250mL	2時間で点滴静注
⑥	レボホリナート	200mg/m ²		5%糖液250mL	2時間で点滴静注
⑦	5-FU(急速)	400mg/m ²		生食20mL	2分で静注
⑧	5-FU(持続)	2400mg/m ²		生食500mL	46時間持続静注
⑨	生食	50mL			5FU(持続分)終了時のフラッシュ

2 投与方法の図式



3 投与スケジュール

1クール2週間。

4 特記事項

- ・ オブジーボの投与の際はインラインフィルター(0.2又は0.22 μm)を使用すること。
- ・ 外来の際5-FUの持続点滴はトレフューザーポンプを用いて投与する。
- ・ オブジーボの投与終了後30分あけてオキサリプラチンを開始する。
- ・ オブジーボは総量100mLで調製
- ・ オキサリプラチンとレボホリナートは同時に点滴する。